



生徒会会長の誕生～より良い学校を目指して～

生徒会活動は、役員だけが活動するものではありません。生徒会は全校生徒が学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上を目指すために、自発的、自治的に行われる活動です。全校生徒で力を合わせて生徒会役員の皆を盛り立てていくことを期待しています。



応援演説会・生徒会役員選挙の結果

6月26日(水)に実施された生徒会役員選挙では、以下の3名の生徒が立候補し、候補者演説と投票が行われました。即日開票の結果、立候補者全員が信任されました。その他の役員(書記2名、会計2名、庶務若干名)については、会長より指名され代議員会によって承認を受ける(生徒会会則第2章第9条)ことになっています。積極的な生徒会活動が展開されることを期待しています。



新生徒会長の決意表明 2年 佐藤誠之介(柳生中出身) 私是一年間、生徒会長の仕事を先輩の近くでずっと見てきました。そして、その偉大さを知り、生徒会長になることを決意しました。私はこの学校を、挨拶の飛び交う学校にしていきます。挨拶は、会話や敬語の基本であり、自分と相手を繋げる言葉です。生徒一人一人が積極的に挨拶ができるよう、挨拶運動などの企画を通して学校全体に広めていきたいと思ひます。また、私は今年の文化祭に、クラスで模擬店を出店できるようにしたいと考えています。これまでの文化祭では、各部活動が主に出店していました。今年の文化祭を全校生徒が全力で楽しめるよう、最大限の力を尽くしていきたいと思ひます。これから一年間、責任を持って仕事に取り組みますので、どうぞよろしくお願ひします。

会長(1名) 2年 佐藤誠之介
副会長(2名) 2年 吉田 らん
1年 青山 陽咲

応援団長の候補者現れず・・・このまま応援団は消滅してしまうのか!?

生徒会選挙規約第3条では「生徒会会長、副会長及び応援団団長の選挙は全校一斉に行う記号式無記名投票によって選出される。」と規定されています。昨年度十数年ぶりに応援団長が登場して応援団復活を喜んだのも束の間、今回の生徒会選挙では応援団長の立候補者は現れませんでした。先日、2回生の応援団長だった羽田良浩さんが来校し、学校設立当初の応援団がどのようなエールをきっていたのかを直々に教えていただける機会がありました。設立当初のエールは某大学の応援団のエールを完全コピーしたものであることや、第一応援歌、第二応援歌が存在したことなどを教えていただきました。また、当時のエールの動きを大先輩と一緒に行うことができました。羽田さんから設立当初のエールの情報を得たことは、応援団の再興に向けての大きな一歩となります。また、応援歌の楽譜も残っていました(かつては生徒手帳に掲載されていました)。応援団は学校の活動や文化の一翼を担い、校内の結束を深める重要な存在です。過去の栄光を称えつつ、未来への情熱を持ち合わせた次なる応援団長が現れ、新たな応援団の誕生を信じるばかりです。

First support song sheet with lyrics and musical notation. Includes the title '第一応援歌' and the author '吉田 陽咲'.



Second support song sheet with lyrics and musical notation. Includes the title '第二応援歌' and the author '田崎 洋子'.

東北大会出場決定！県総体で水泳部が大活躍！

6月21日～23日まで開催された県総体競泳において、5つの種目で8位以内に入賞し、東北高等学校選手権大会の出場権を獲得しました。東北高等学校選手権大会（競泳）は7月19日～21日、福島・郡山しんきん開成山プールにて開催されます。インターハイ出場に向けて更なる活躍を期待しています。

男子100M平泳ぎ 第2位 布田望斗
男子200Mバタフライ 第5位 片平瑛太
男子100Mバタフライ 第6位 片平瑛太
男子4×100Mメドレーリレー 第7位
片平瑛太・二瓶結登・布田望斗・近藤快音
男子4×200Mフリーリレー 第8位
二瓶結登・布田望斗・片平瑛太・近藤快音
総合成績 第8位 名取北高校



東北大会に向けて3年 近藤快音（郡山中出身）
この度の県総体において、水泳部の仲間とともに一致団結して競技に臨んだ結果、5種目で東北大会出場を決めることができました。このような成績をあげることができたのは、いつもそばで支えてくれる顧問の先生や家族、仲間がいたからです。東北大会では、今回の記録をさらに超えられるよう、悔いの残らないように全力で頑張ります。応援、よろしくお願いします。

地域活性化のためのお手伝い

名取市増田地区にある田高団地は高齢化が進み、毎月行われている定例清掃の参加者が減少してしまい、最近では清掃も人手不足で定例開催が困難になっていました。そこで田高団地会長から「この状況の打開策として名取北高生の力をぜひお借りしたい」という声が寄せられました。継続的に清掃ボランティアとして奉仕活動部が協力をしていくこととなり、先日6月20日に第1回の共同作業を行いました。



働くことの喜び 2年 武田大和(逢隈中出身)

私は今回の田高団地でのボランティア活動を通して、誰かのために働くことの楽しさや喜びを知ることができました。これをきっかけに、地元でのボランティア活動も参加していきたいです。田高団地の皆さんには、ボランティア活動を通して仲良くしてもらい、活動に参加して良かったと思いました。また引き続き皆さんと清掃活動をしたと感じました。



東北総合スポーツ大会弓道競技出場決定！

6月8日には近的競技で、翌9日と15日には遠的競技で東北総合スポーツ大会の選考会が行われました。この選考会で2年の塚部美来さんが優秀な成績を収め、8月17日・18日に秋田県で開催される東北総合スポーツ大会弓道競技の宮城県代表選手に選ばれました。この大会で上位2県が10月に佐賀県で開催される国民スポーツ大会への出場権を獲得することができます。出場権獲得に向けて頑張ってください。



正射必中 2年 塚部美来(巨理吉田中出身)
私は『正射必中』をもとに技術、体力を身に付け、日々の練習を大切にし、全国大会出場に向けて努力しています。

県総体では、個人戦準決勝進出目前というところで敗れ、悔しい思いをしました。弓道を始めて2年目なので、弓道の経験、知識が未熟です。そんな中で宮城県代表になり、東北大会に出るといのは不安な部分が多いですが、同じく代表になった先輩の方々や監督、コーチ陣の力を借り、一射一射を大切にしながら技術の向上を目指します。8月の東北総合スポーツ大会そして10月に佐賀県で行われる国民スポーツ大会出場に向け、全力で努力していきます。応援よろしくお願いします。

成年年齢引き下げに関する消費者教育講演会

6月22日（土）に、あすなろ法律事務所 鎌田健司氏を講師にお迎えして、PTA講演会が開催されました。この講演会は、3学年の生徒と保護者の方々を対象に行われ、多くの皆様にご参加いただきました。令和4年4月に行われた民法の改正により、成年年齢が18歳に引き下げられたことを受けて、鎌田氏は未成年と成年の法的な違いや、保護者の承諾なしに行える行為について、具体的な事例やクイズ形式も交えながら講話をしてくださいました。生徒たちだけでなく、保護者の方々も積極的に参加し、法律に関する理解を深める貴重な機会となりました。



8月の行事予定

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 10日（土）全統共通テスト模試（外部） | 29日（木）5分短縮午前授業・午後北高祭準備 |
| 21日（水）開講式・1、2年課題テスト | 30日（金）北高祭1日目（校内） |
| 25日（日）全統記述模試（外部） | 31日（土）北高祭2日目（一般公開） |

